

教 科	理 科	科 目 ( 講座名 )	( 生 物 )
-----	-----	----------------	---------

対象年次	期 間	単位数	授業形態	必修／選択
1年 2年 3年 4年	前期 後期 通年	4	講義 実技 実習	必ず履修しなければならない科目 選択して履修しなければならない科目群の中の一科目 <input type="radio"/> 履修するか、しないかを選択できる科目

履修の条件	生物基礎を履修していること
-------	---------------

科目のねらい	<p>1、生物基礎との関連を図りながら、生物や生物現象をさらに広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身につけさせる。</p> <p>2、生物学の基本的な概念や原理・法則を深めさせ、科学的な自然観を育てる。</p>	
指導の方法	<p>1、図や写真、時には本物の生物をできるだけ多く取り入れ、親しみを持てる授業をする。</p> <p>2、学習した内容をこまめな小テストで確認し、各単元終了後、レポートを課し、自分で生物に対する考えをまとめる力を身につけさせる。</p>	
おもな学習内容	前期	評価のポイント
	<p>第1編 生命現象と物質</p> <p>1章 生体物質と細胞</p> <p>3章 代謝とエネルギー</p> <p>第2編 遺伝子のはたらき</p> <p>1章 遺伝情報の発現</p> <p>3章 バイオテクノロジー</p>	<p>定期考査の成績を60～70%、 授業プリント、小テストなどの提出物や学習、実験活動への主体的な取り組み方を30～40%の割合で評価します。</p>
	後期	
	<p>第3編 生殖と発生</p> <p>3章 動物の発生</p> <p>5章 植物の発生</p> <p>第4編 生物の環境応答</p> <p>1章 動物の刺激の受容と反応</p> <p>2章 動物の行動</p>	

使用教科書・教材	生物（東京書籍）
準備物、費用等	